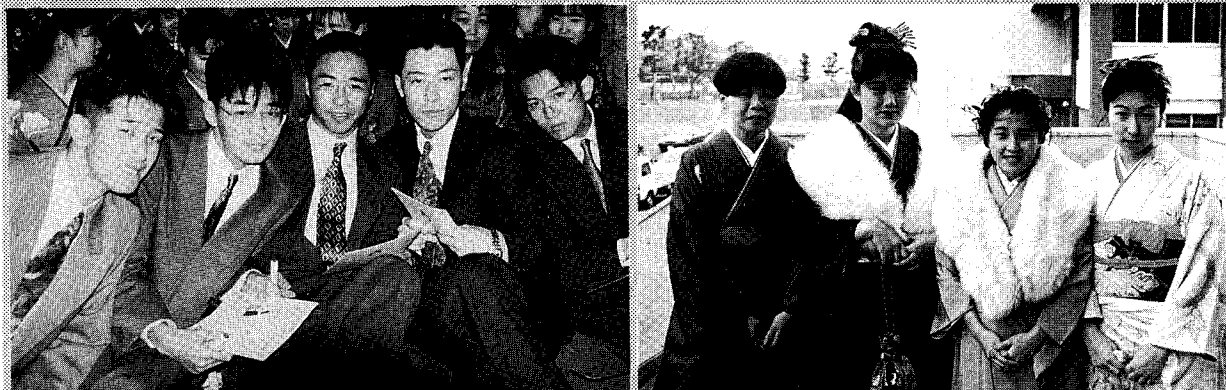
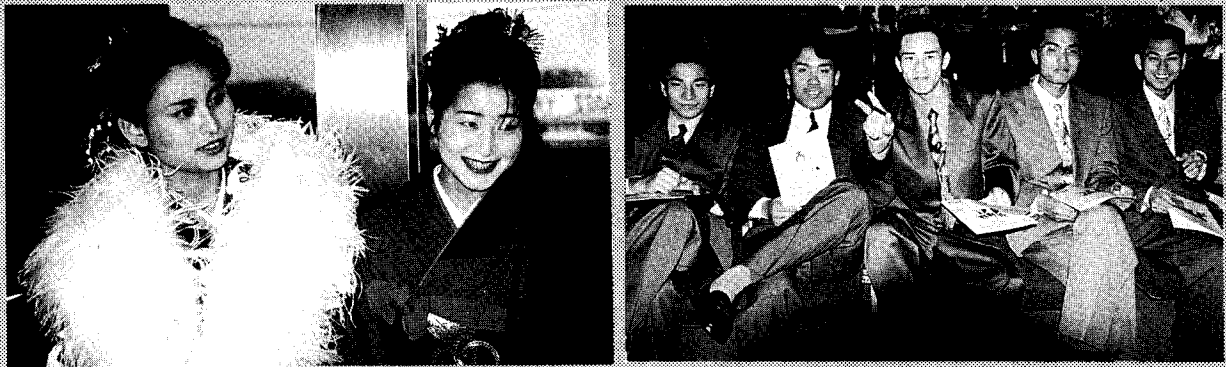


# 広報あかけ 2

No.373

■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1☎0947(28)2004 ■編集/総務課

★町の人口★10,310人(-35)男4,857人(-2)女5,453人(-33)世帯合計3,634(+29)平成5年12月31日現在( )は前年同月との比較です



君よ未来の華となれ!  
新成人おめでとう

## 視点

「口に税はかからぬ」  
「口に年貢はいらぬ」ということわざは、気ままな放言をするときに、よく使われた。すぐ消えてしまっておしゃべりに、税金をかけることはできないからである。

▼二月から三月にかけての税金の確定申告期間は「税」という文字を目にするの多い時期。もともとは稲を意味する「禾」と、抜き出す意味の「兌」を組み合わせてできた漢字である▼田畑を耕作する農民が、年間の収穫物を一定の比率で抜き出して納めたもので、「年貢」という言葉の使用は、室町時代以後とされている▼「年貢いらずの畦豆」は、田と田の境界にまいた大豆には年貢がかからないため、ただで手に入るものたえに使われた。「年貢の納め時」は年貢の滞納を清算するときのこと。重ねてきた悪事を償うべきときの意から転じて、物事に見切りをつけて覚悟を決めるべきときという意味にも用いられる。▼今、国会では政治改革法案をめぐって揺れ動いている。経済の活性化に向けた「所得税減税」や「消費税」問題など大きな課題が山積みである。政治家の動向が注目されている。「口に年貢はいらぬ」と失言してばかりいると、「年貢の納め時」がくるかもしれません。